

クローバーの「時×空」投資 TimeSpace

クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2022年6月30日基準

★インフレ時代の投資戦略

毎日のように値上げのニュースが報道されるようになりまし。私などは子供時代にインフレを経験し、当時大人があいさつの枕詞に「諸物価高騰の折…」と言っていた時代を経験していますが、デフレ時代しか知らない若い世代にとっては正に異次元の世界でしょうね。

短期的には、生産国におけるコロナによる供給体制の混乱と、先進国における景気刺激策と需要の急回復、それにロシアのウクライナ侵攻、さらには上海という巨大都市の長期封鎖と、続々と想定外の事態がおこったために、極端なインフレとなっているかもしれないませんが、長期的にみても、世界規模での分業と大価格競争で価格破壊をもたらしたグローバル化の終焉を考えると、これからの日本は確実にインフレの時代になりそうです。それに加えて、過去のインフレ分を考慮すると現在の1ドル135円のレベルが50年前の300円程度と同じ水準の超円安ですか



ら、まだまだ値上げは続きそうですね。そんなデフレからインフレの時代になるわけですから、企業戦略も180度変更することが求められます。確かにインフレ圧力からの生活防衛から、代替の可能な分野ならさらに価格志向が強まる分野もあるかもしれませんが、低価格を売りにしている企業でもコストアップからの値上げは不可避で、低価格を維持するのは益々困難になるでしょう。

また、昭和の時代のように、基本的なモノやサービスが大きく不足し、価格も高かった時代なら価格破壊は有効ですが、グローバル化によって基本的なモノやサービスが満たされ、価格も極限まで絞り込まれた令和の時代には、むしろ「価格を上げることのできる企業かどうか」が命運を分けると思っています。

実際、ルイ・ヴィトンやエルメスなど高級ブランドはどんどん価格を上げて業績も向上させています。(彼女や奥さん、あるいは自分へのプレゼントを、高いからといって安いブランドに替えたらどうなるか想像してください) 例えばデイズニールブランドが値上げしたから行くのを止めたという話はあまり聞いたことがありません。一方、デフレ時代に価格を武器に高成長してきた企業は、コストアップで価格維持が難しくなり、かと言って値上げをしていくと、顧客離れで苦しむことになります。

結局、「絶対的な価格」というよりは、「相対的な価格が重要」になり、その為にはどれだけお客様にとって意味ある魅力的な価値を創造できるかが決め手になります。「効率追求企業」から「価値創造企業へ」、長期投資における企業選別も大きく見直しが迫られそうです。

さて、そんな時代の投資戦略について考えてみましょう。

よう。インフレ時代、金利上昇時代の投資戦略としてまず考えなければいけないのは、当然のことながら、キャッシュは大きくダメージを受けるのでダメということです。日本の個人金融資産の約半分の1000兆円がほぼゼロ金利の預貯金のままですが、いよいよこれを動かさないとイケない時代になるということです。

では、どこに投資すればいいのでしょうか。今までのように金利が長期的に下落してきた過去40年とは違い、株も債券も単純に上がる時代ではありません。また、海外資産に投資しようと思っても、今の超円安水準では逆に円高になるリスクも大きくなっています。企業戦略が180度変わったように、投資の世界でも国内外の株と債券に4分割のバッシュアップ投資だけしておけばいい時代は完全に終わりました。

先の企業戦略で述べたように、本当に意味ある価値が創造でき、高くても買手が逃げない付加価値を提示できる企業、さらに他の企業が真似できない高い参入障壁を持つ企業こそ、狙い目だと思います。そんなインフレ時代の成長基調を厳選できる優秀なファンドマネージャーをこれから探して参りたいと思います。いよいよファンドの本当の実力が試される時代になりました。

多根幹雄





マーケット・ストラテジー

5月の消費者物価指数（CPI）は8.6%と市場の予想を上回り、これを受けて株式市場は下落。主要通貨に対し米ドル高を招きました。加えて、6月の米ミシガン大学消費者信頼感指数が前月の58.5から50.2に下落するなど、消費者のセンチメントも悪化しました。こうした悪材料の中でも、月の前半は株価の下落が続いた結果、銘柄の半数以上がピク比2割以上下落したことで、足元の市場を売られ過ぎとするテクニカル指標が見られるなど、短期的な反発を期待する声も見られました。



Source: Bloomberg

ドル円に関しては、日銀のイールドカーブ・コントロールにより日米の金利差が一段と拡大し、円売り圧力が継続しました。日銀黒田総裁の金融緩和政策の結果については依然不透明ではあるものの、文字通り「円の崩壊」に危機感を覚える海外投資家もおり、彼らによる日本株と日本国債の売り越しが高水準になっ



Source: Bloomberg

ています。（しかし、日本円がこの水準にとどまるようなら訪日外国人の購買意欲を刺激するのは間違いないでしょう。）

翻って米連邦準備制度理事会（FRB）は6月半ばに0.75%の政策金利の引き上げを発表し、市場を驚かせました。不透明感は依然残るものの、インフレ動向が幾分安定することを前提に、市場は7月の0.75%、その後数回の0.5%引き上げを織り込もうとしています。米FRBのパウエル議長「景気のソフトランディングはチャレンジングである」との発言から判断するに、FRBはハードランディングになる可能性について認識しているようです。

実際に、6月に入って米2年国債利回りが2007年来の高水準になるなど、金利は再び上昇基調をたどりました。そしてこのような短期間に急激な利上げを行う現在の金融政策による経済への悪影響がエコノミストの間で懸念されはじめています。金利上昇による資金調達コストの拡大、鈍化する企業活動によって一段の企業業績の下方修正の可能性が強まっており、株式市場にとってはいい材料ではありません。加えて主要投資銀行が一部の企業買収にからんだ損失を公表するなど、企業のM&A活動にも影響がはじめています。こうしたセンチメントの悪化はハイイールド債市場にも織り込まれ始めており、格付けの低い発行体の利回りは12%を上回りました。

欧州では、イタリア国債利回りが6月に高騰し一時4%を上回り、ドイツ国債とのスプレッドが2%に達しました。多くの加盟国を抱えながらの単一の金融政策のかじ取りを迫られる欧州中央銀行（ECB）はこ

うした固有の難題にも直面しています。さらなる不安材料として米国の増税案が挙げられます。米バイデン大統領による、法人と富裕層への増税を含む経済計画案は、企業収益を圧迫する可能性ががあります。これらのマイナス材料を踏まえ、

株価が底を打ったのか否か議論が分かれるところですが、投資家は今後の経済及び金融市場に対し非常に悲観的な見通しを示しています。このように投資家が非常に悲観的になっていくときは、底値も近いと考えることも可能ですが、同時に一層の株価下落の可能性も否定できません。ただし、商品市場では鉄鉱石、原油、農産物の価格



Source: Bloomberg

が下落しており、株式市場にとっては幾分追い風となるでしょう。日本円に関しては、日本と他国との金利差拡大を主な要因として、数十年来の安値を更新しています。しかし、現在の円安は行き過ぎと考え、他通貨建て資産から円建て資産への入れ替えを徐々に進めています。

樋口恭信



Source: Bank of America

★「老いても、定時定額、長期分散投資、こつこつ投資でぼちぼちいこか」

皆様、はじめまして、2020年3月より、クローバーアセットの仲間入りをさせていただきました上田壯(うえだ たけし)と申します。まだまだ新参者です。宜しくお願い申し上げます。

2016年に還暦を迎え、その後、2019年6月に、金融庁が発表した「老後2000万円問題」が話題となりました。これは、老後の生活では毎月約5万円が不足し、30年間で2000万円が不足するとした試算でした。平均寿命がどんどん伸びていることもあり、丁度、その頃から、真剣に資産運用を一から見直し、老後資産への不安から、預貯金の一部を取り崩して、投資信託への投資と、NISAの利用を始めたのが、転機でした。国内には6000本以上もの投資信託があり、大いに悩みましたが、投資信託の特徴と過去のパフォーマンスからスクリーニングした結果、金融機関からご推奨いただいた投資信託やインデックス投資信託に加え、独立系の投資信託にも注目し、その中から、パフォーマンスに定評のあるクローバーアセットの投資信託も選んだのが、そもそものクローバーアセットとの出会いになります。

投資信託を選ぶ際に、心掛けたのは、カテゴリー、投資国、通貨などのユニバース、運用対象や投資タイミングをマーケット環境に応じて、自分でその都度判断するのではなく、最初から複数の銘柄に分散し、ドルコスト平均法によって、定時

定額で積み立てていくといった、「こつこつ投資」でした。2020年1月より、順次口座を開設し、クローバーアセットは同年3月に初デビューしました。それからほぼ2年、コロナウイルス感染やロシアのウクライナへの軍事侵攻に起因する世界的な物価上昇、各国の利上げによる金融経済不安など、先行き不透明な状況下において、正直、いいパフォーマンス結果は決して得られておりません。但し、短期運用ではなく、中・長期での運用を目指しているのです。今回のような調整局面は、ある意味、逆転の発想で、絶好のチャンスと捉え、低い基準価額で、多くの口数が買えていることをしっかりと認識し、投資信託への投資を一般NISA枠も積極的に活用しながら、将来、必ずリバウンドすることを夢に見つつ、時間の経過を味方に、ぼちぼちと、「こつこつ投資」を進めているところなのです。

皆様、年齢に関係なく、共通して言えることは、今からでも決して遅くはありません。まだの方は、時間を味方に、今からでもすぐに始めましょう。近い将来、まだ行ったことのない、たねころ山ツアーへの参加を夢に見ながら、こつこつと投資を続けたいと思います。

人生、一期一会、人生トライアングル(よき仲間、いい仕事、旨いお酒)パリミキとの出会いについて、ひとこと。

1992年〜1998年まで、仕事の関係で英国ロンドンに在住していた際、実はパリミキとの出会いがありました。ロンドン兵庫県人会にて当時ピカデリー広場にあったロンドン店にて、若林

さんのお薦めでメガネを作ったのを契機に、足掛け30年、一度も浮気することなく、パリミキのメガネに、ぞっこん惚れこみ、それ以来、ずっとお世話になっております。

クローバーアセットの経営者、従業員、スタッフの皆様、厳しい環境下ではありますが、今後とも宜しく願います。会社の益々のご隆盛と共に、ファンド仲間の皆様が、コロナに感染することなく、健康に留意され、おふくろファンド、こどもファンドの運用成果の向上をお願いし、皆様の老後の資産運用の一助になることを大いに期待しております。頼みます！

上田 壯



パリミキ 現ロンドン店
(Duke Street)



メールにて何度も原稿についての打ち合わせしていただいた上田さん。大変お忙しい中、誠にありがとうございました。ありがとうございました。

また大阪にお邪魔する際、ワインのお話などをしていただけるのを楽しみにしております。

三浦隆任

6月のマーケット概要

6月の米国株式市場は、乱高下に見舞われました。前月の上昇基調から、FRBブレイナード副議長の「9月に利上げをいったん停止する理由はほとんどない」という発言で上げ足を止め、10日発表の5月のCPIが前年同月比1.0%（予想は0.7%）と40カ月ぶりの上昇となり、金融引き締めがさらに拡大する懸念で下落を始めました。15日に発表されたFRBの利上げは、75bp（1994年以来27年ぶりの大幅利上げ）となりましたが、いったん株価は下げ止まりました。しかし、28日に発表の6月の米消費者信頼感が悪化したことで楽観的な見方が後退、インフレ対応に向けたFRBの積極的な利上げで米経済がリセッションに陥るとの懸念で下落しました。

日本株式市場も前月の上昇基調から始まったものの、10日からは、米国の金融引き締め懸念で下落し始めました。米国株式市場の上昇、日銀のETF買い付け、コアCPIの7年ぶりの大幅上昇で株価は値をもどしました。

コドモファンド

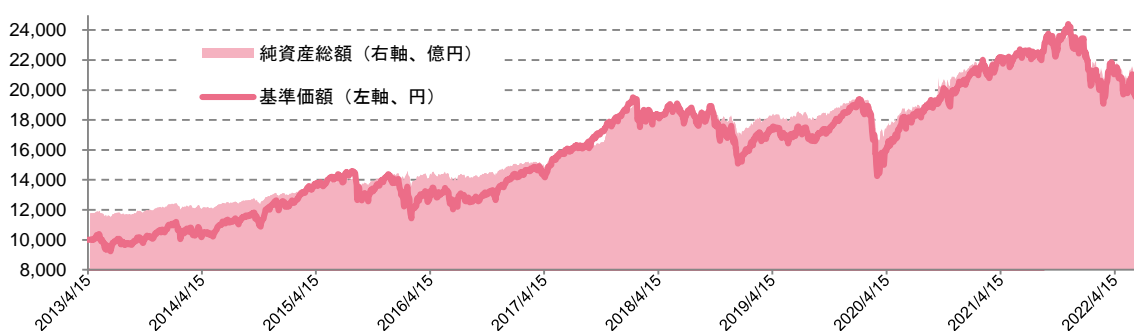
変幻自在ずーっとおまかせ

【6月の運用コメント】

月初に、金利上昇でM&A案件が減っているという情報で、サテライト・イベントドリブンファンドを一部売却、中国の都市ロックダウン解消を聞き、中国投資の多いマッシュューズ・アジアデビデントファンドを追加購入しました。マッシュューズ・アジア、イグネオが大きく貢献しましたが、日本の中小型株ファンドが振るわず、基準価額は-0.68%となりました。

まだまだ相場の乱高下はあると思っています。下落時には積極的な買いを入れていくつもりです。

基準価額と純資産総額の推移



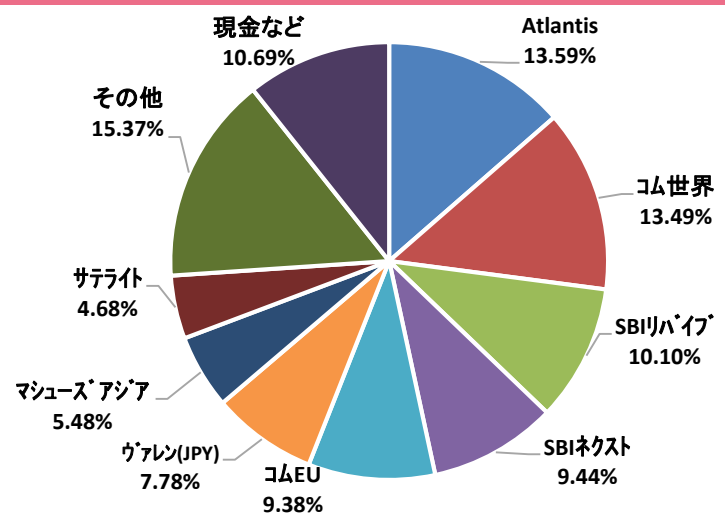
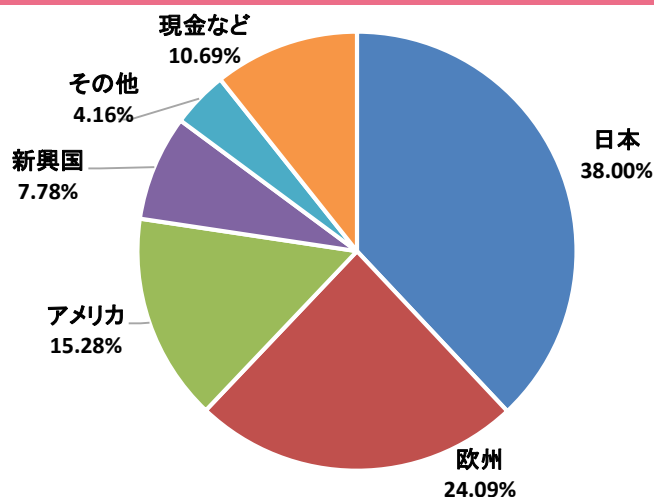
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

Atlantis	-5.36%
コムジェスト 世界株式	0.24%
SBIリバイブ	-1.55%
SBIネクスト	-2.32%
コムジェスト EU	-0.01%

コドモファンド概況

基準価額	20,359円	信託期間	無期限
純資産総額	9,280百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全16本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-0.68%	-6.53%	-13.13%	-9.79%	19.77%	103.59%
				(複利年率)	(複利年率)
				(6.18%)	(8.02%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

浪花おふくろファンド

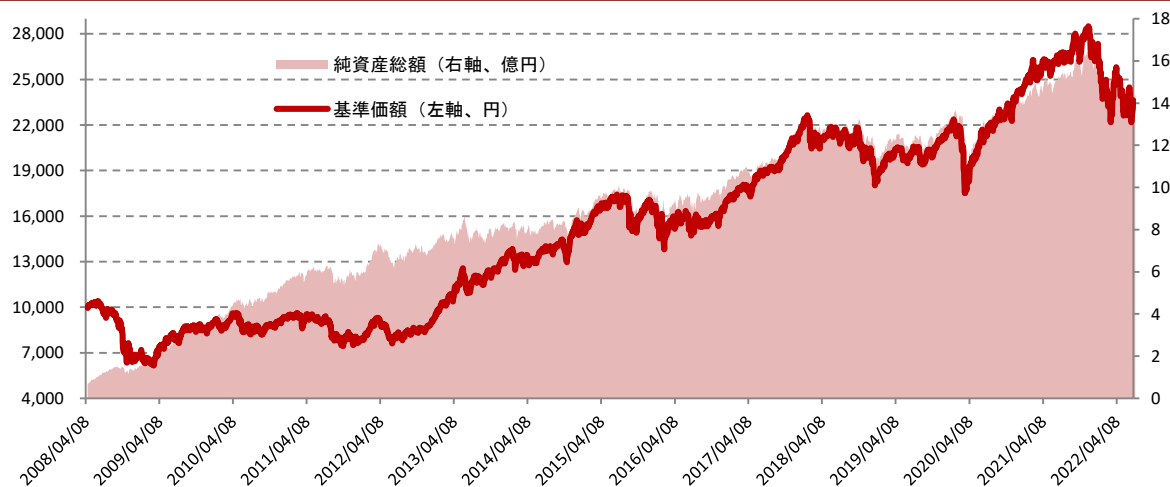
じっくりどっしり長期運用

【6月の運用コメント】

コムジェスト・エマージングは好調でしたが、日本株のファンド、特にカーディフ・ジャパンアルファが振るわず、基準価額は-0.71%となりました。

まだまだ相場の乱高下はあると思っています。下落時には積極的な買いを入れていくつもりです。

基準価額と純資産総額の推移



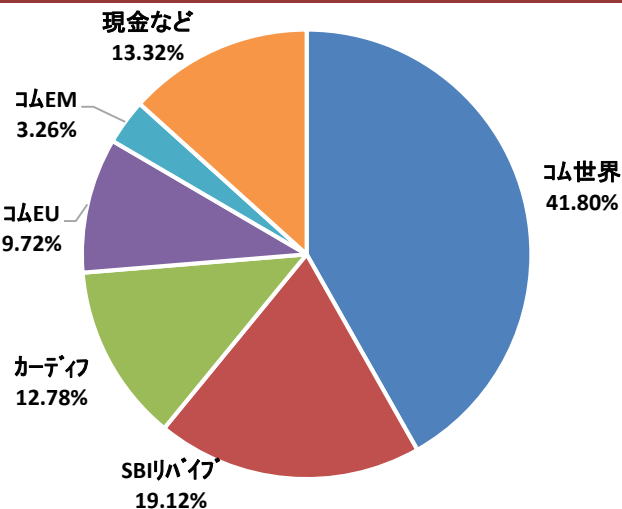
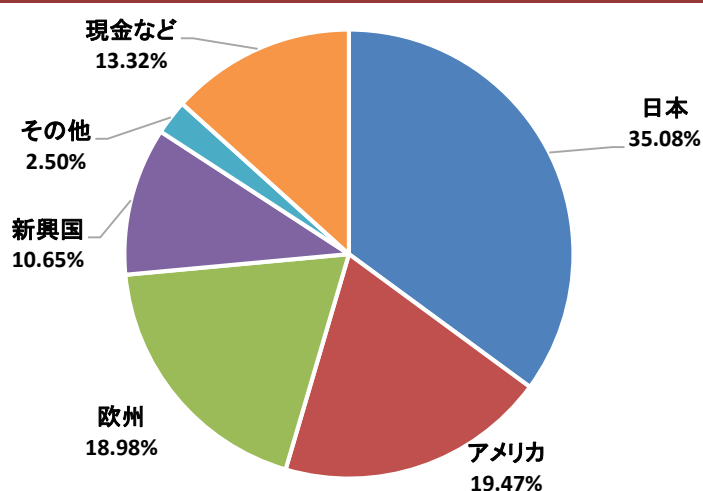
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト 世界株式	0.24%
SBI リバイク	-1.55%
カーディフ	-4.93%
コムジェスト ヨーロッパ	-0.01%
コムジェスト エマージング	2.22%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	23,448円	信託期間	無期限
純資産総額	1,433百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-0.71%	-7.99%	-13.92%	-11.78%	16.66%	134.48%
				(複利年率)	(複利年率)
				(5.26%)	(6.17%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)
------------------	--

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバーフェイスブックから

☆クローバー長期投資セミナー

6月の投資政策セミナーは、6月10日(金)対面(大阪) & ネットで開催いたしました。開催直前まで音響の調整に手間取り、大変失礼いたしました。ホントは、必死でしたが、会場の皆様をギャグで盛り上げながらのきわどいスタートになりました。

恒例の5月のマーケットは私(磯野)から。結局、金融引き締め局面のアメリカ力は、マーケットにとっていいニュースは、悪い影響(金融引き締めを強める)となり、逆にマーケットにとって悪いニュース



は、いい影響(金融引き締めを緩める)となる誠に不思議な状況になっています。5月の米国株式市場は+0.50%(前回の利上げの2倍)の利上げを、また同時にFRBの資産圧縮も開始するとの強めの引き締めを発表したため、それなりの調整が入りましたが、マーケットはそれを受け止めて月後半は上昇となりました。一方、日本株式市場は、米国の影響で下落で始まりましたが、中国人の入国枠拡大や、中

国のロックダウン終了などの明るいニュースで早めに回復しました。

樋口さんからは、中国の消費者信頼感指数の話について「大きく下がってきたんですが、ここでロックダウンが終了し一気に経済再開となり消費が爆発」なんていろんな情報がありました。

参加者からの質問で「金融緩和から金融引き締めへの移行期、相場が乱高下して、なかなか希望が見いだせないのですが」というお話に、樋口さんから、「転換期は、上がったりがったりは、当然。そのあとに新しい世界が始まることになるので、今は先を見越していろいろトライしていく時期です。新しいセクター、忘れられていたセクター、新しい動きを日々探っていくチャンスです」と、いい話でした。



多根社長からは、島根県奥出雲の話。林業が盛んで、良質の米、温泉もあるが忘れられたセクター(？)、ここに注目して応援しているのとこと。長期滞在もいみたいですね。二拠点生活も考えてみては、どうでしょう。(クローバー月次レポート6月号「暮らせる博物館」をご参照ください)

☆銀座ランチシリーズ

ヨシヨクヤ リベルマン

銀座から築地方面に行った新富町のレストラン。ハンバーグを食べたいと思って、検索してヒットしました。店名もいいし、デザインもよくリーズナブルなので、探してたどり着きました。ただ、ビル全体が外装工事中で、見落として通り過ぎましたが。

店内すっきりとオシャレです。私は予定どおり煮込みハンバーグ、もう一人は鉄板焼きオムライス。どちらも1000円です。料理が届いて、二人ともビックリ。全く想像を超えるビジュアル。ハンバーグは、皿全面に薄くクリーミーなマッシュポテト、その上に煮込み野菜が入ったデミグラスソース、その上に表面カリッと焦げた、中は、半生のゴロっとしたハンバーグがのっています。はじめは、ナイフ、フォークで食べてましたが、ハンバーグとソース、ポテトと一緒にスプーンですくって食べるほうがいいとわかりました。コーヒーを200円で追加。12時前に入った時は空いてましたが、帰りにはほぼ満席でした。



ルクルーゼの鍋敷きの上に置かれた「鉄板焼きオムライス」



煮込みハンバーグオニオン風味のデミグラスソース

★韓国の港町・釜山

世界各国でコロナウイルス対策の入国規制が緩和されつつあります。そんな中、おとなりの韓国でも、6月1日から観光ビザの発給が開始され、約2年3か月ぶりに観光目的での渡航ができるようになりました。私もこのときを心待ちにしていたうちの一人です。そこで今回は、私が大学時代に訪れた韓国での記憶をたどって、皆さんに少しでも海外旅行気分をご共有できたらと思います。

韓国の都市というと、まずはソウルを思い浮かべる方が多いかと思いますが、私は韓国第2の都市である釜山（プサン）を行先に選びました。ソウルは日本でいう東京のような大都市ですが、釜山は昔からの港町として観光客に人気の都市です。

まず、港町ならではの海産物を食べようと思いい、広い海に見える『海雲台（ヘウンデ）』と呼ばれるビーチに向かいました。道に迷ったり寄り道をしたりと、マイペースに行動していたら、ビーチに到着した頃には辺りは真っ暗。肝心の海の写真が一枚も残っていませんでした…。こんなちよつとしたハプニングが笑い話になるのも、旅の魅力ですよね。夕食は海産物を使った『ナクチポククン』を美食。“ナクチ”は韓国語でタコ、“ポククン”は炒めるという意味で、タコとご飯（その他

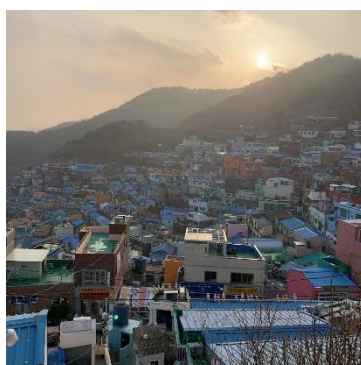
諸々）を炒めた料理です。唐辛子味噌をベースに味付けがされているので、辛いものがお好きな方におすすめしたい一品です。

もう一つ、訪れた先で印象に残っているのが、『甘川文化村（カムチヨナムナムウル）』です。もともとは、朝鮮戦争時に北朝鮮から逃げてきた避難民が暮らす集落でしたが、その後、立ち並ぶ家々は住民たちや芸術家の手によってカラフルに塗装され、階段や壁など村の至るところにイラストやオブジェなどのアートが施されました。今では国内外からたくさんの方が訪れる釜山の観光名所の一つになりました。実際に、街並みに沿って坂を上っていくと展望台があり、その美しい景観の全体を眺めることができました。また、坂道や階段の多い甘川文化村ですが、展望台の近くにはカフェやコーヒーショップがあり、疲れた足腰を休めて一息つくのにぴったりです。

次の韓国旅行では、日本から一番近い海外リゾートと言われている済州島（チェジュ島）に行きたいと考えています。また、少しずつではありますが、先の見えない日々が終わりに向かっていくように感じます。そんな今だからこそ、思い出を振り返り、懐かしいときに思いを馳せる時間があってもいいかもしれませんね。



（右）夜の国際市場。夜遅くまでたくさん観光客や地元の人で賑わっていました。次は明るいうちに訪れてみたいです。



（左）展望台から見た甘川文化村。この鮮やかで美しい景観から『韓国のサントリニー』や『韓国のマチュピチュ』とも呼ばれています。



漆原菜々子

ここ何日か、とんでもなく暑い日が続いております。それもあってか、6月末頃に体調を崩してしまいました。月次レポートの作成作業をするまでに復調し、無事完成させることができ、ほっとしております。

皆様も体調を崩されぬよう、お体ご自愛ください。

三浦隆任



“クローバー 秘 投資政策セミナー 2022.7”

2022年
7月15日(金)
18:30~20:00

対面&ライブ配信セミナー
対面: 定員22名 <大阪>
ネット: 定員30名

樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)
多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)



“クローバー 秘 投資政策セミナー 2022.8”

2022年
8月19日(金)
18:30~20:00

対面&ライブ配信セミナー
対面: 定員22名 <未定>
ネット: 定員30名

樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)
多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

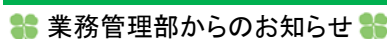
ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

クローバーから大切なお知らせ



【ホームページリニューアルのお知らせ】

この度「より見やすい・分かりやすい・使いやすい」ホームページを目指して、ホームページリニューアルを実施いたしました。

既にご覧いただいたお客様もいらっしゃるかと存じますが、是非、一度ご覧いただければと存じます。

今回、お客様マイページにおきまして、「毎月つみたてサービスの変更・中止」がマイページから行えるようになりました。ご活用いただければ幸いです。

今後より充実したホームページ作りに取り組んでまいりますので、何かお気づきの点があれば弊社業務管理部までお知らせいただけますと幸いです。その他にもご意見、ご感想お待ちしております。

【「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の交付について】

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を7月初旬に送付・電子交付しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2022年4月~6月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

なお、「お客様マイページ」をご登録頂きました方は、電子交付いたしておりますので、マイページから閲覧してください。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、8月5日(金)

8月分金額変更・中止・再開締切日... 7月25日(月)

9月分新規・口座変更締切日... 8月3日(水)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp